



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビシステムズ社、 Adobe Flash Media Server 4 ファミリーを発表

新ファミリーの Flash Server が拡張性に富んだビデオと ソーシャルメディア アプリケーションの配信を実現

【2010年9月9日】

米国カリフォルニア州サンノゼ、オランダ アムステルダム発（2010年9月9日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、開催中の IBC 2010 Conference and Exhibition で、業界をリードするビデオストリーミングとリアルタイムのコミュニケーションを提供する Adobe® Flash® Media Server 4 ファミリーを発表しました。

Adobe Flash Media Server 4 ファミリーは、Flash Media Streaming Server 4、Flash Media Interactive Server 4、および Flash Media Enterprise Server 4 の3製品から構成され、あらゆるタイプのお客様に適したビデオソリューションです。今回初めて発表された Flash Media Enterprise Server 4 では、帯域使用を大幅に削減する Real Time Media Flow Protocol (RTMFP) によるピアアシストネットワーキングが初めて可能となります。これらの新バージョンにより、リッチメディア配信のリーダーとしてのアドビシステムズ社のポジションがさらに強固なものとなるだけでなく、高品質でネットワーク効率の高いメディア体験をより低コストで、すべてのディスプレイを対象に少しでも多くの視聴者に提供することを望むコンテンツ保有者にとって新たなビジネスの機会を提供します。

Adobe Flash Media Server 4 ファミリーは、9月10日から14日にアムステルダムの RAI Convention Center で開催される IBC 2010 Exhibition（ホール7、スタンド721）において展示されます。今回の発表を記念し、アドビシステムズ社は9月10日（金）9:30AM に IBC 2010 の自社スタンドにてライブイベントを開催し、この模様は Ustream サイト <<http://www.ustream.tv/adobe2010>> でライブ中継されます。またアドビシステムズ社と Streaming Media Magazine は、9月10日（金）11:00AM に「Flash Media Server Roadmap — What's Next?」と題された無料オンラインセミナーを開催します。このオンラインセミナーにはアドビシステムズ社 Flash Media Server、Rich Media Solutions 担当シニア プロダクト マネージャーのケビン タウズ（Kevin Towes）、および Streaming Media 誌エグゼクティブ バイスプレジデントのダン レイバーン（Dan Rayburn）氏が登場します。詳細については <<http://www.adobe.com/go/fms/>> をご覧ください。

アドビシステムズ社 クリエイティブ兼インタラクティブソリューション担当シニアバイスプレジデント デイビッドワドワニ（David Wadhvani）は、「Flash Media Server 4 により、リッチな双方向メディア配信に根本的な変化がもたらされました。ピアアシストネットワーキングとアドビシステムズ社の RTMFP に対応した新しいエンタープライズサーバーの投入により、メディア配信のコスト効率が上がり、エンタープライズやソーシャルメディア企業は、リッチな双方向コンテンツを提供するための新たな手法を得ることになります。Adobe Flash Platform は今後も、幅広い視聴者へ魅力あるコンテンツを配信するという目的に向け、新た

な基準を業界にもたらししていきます」と述べています。

すべてのお客様のためのビデオ ソリューション

Adobe Flash Media Server 4 ファミリーの製品は、中・小規模のビデオ配信から大規模なエンタープライズによる展開までを対象としたソリューションです。Adobe Flash Media Server 4 のバージョンはすべて、64 ビット OS に完全対応し、ほぼ無制限なメモリ容量の確保、そしてキャッシュ容量拡大、さらに高度な双方向サービスの提供、およびサービス品質の改善が可能になりました。

Adobe Flash Media Streaming Server 4

Adobe Flash Media Streaming Server 4 を使用することにより、小規模から中規模のお客様は、幅広いプラットフォームやデバイスで、コンテンツ保護機能と先進的な再生体験を備えた高品質なライブとオンデマンド コンテンツのストリーミング配信を短期間で容易に開始できます。

Adobe Flash Media Interactive Server 4

Adobe Flash Media Interactive Server 4 は、セキュリティが確保され拡張性に富んだ、ライブおよびオンデマンドの再生体験を、リアルタイムのソーシャルメディア アプリケーションと共に実現します。そして、新機能であるネットワークをより効率的に活用することができる IP マルチキャスト対応と、HTTP Dynamic Streaming に対応した Live パッケージングにより、優れた再生品質を幅広いプラットフォームやデバイス向けに提供できるようになります。

Adobe Flash Media Enterprise Server 4

Flash Media Streaming Server や Flash Media Interactive Server を基盤として構成された Adobe Flash Media Enterprise Server 4 は、大規模なビデオ配信やソーシャルアプリケーションをソフトウェアによるアプローチで提供可能にします。これによりエンタープライズのお客様やソーシャルネットワークなどで、さまざまなディスプレイを対象にビデオコミュニケーションやコラボレーションが実現できます。新しい RTMFP テクノロジーはネットワークに接続された Adobe Flash Player クライアントを活用してリアルタイムのデータ配信をネットワーク全体で実現し、使用帯域を削減します。既存のネットワークをアップグレードすることなく、コスト効率の向上、そしてネットワーク管理の効率を改善します。IP マルチキャストやピアツーピアの配信は、個別、もしくは組み合わせたマルチキャスト Fusion として使用でき、プライベートネットワークやパブリックなネットワークにおいて容量と品質をさらに高めます。

株式会社インターネットイニシアティブ（以下 IJ）のサービス本部アプリケーションサービス部長、木村 和人氏は、「IJ は Adobe Flash Media Server 4 の発表を心より歓迎します。ここ数年、インターネットへのビデオ配信需要が増加するにつれ、配信側もよりパフォーマンスの高いシステムが求められています。Adobe Flash Media Server 4 には待望の Cent OS への対応と 64-bit 化に加え、高品質な HD ビデオを大規模に配信するための革新的技術が採用されています。IJ では、視聴者に対して今まで以上に高品質で魅力的なビデオ視聴環境を提供できると考えており、Flash Media Server ファミリー製品の中核として、今後も大きく進化していく製品であると確信しています。アドビシステムズの Flash Video ストリーミングサービスパートナーである IJ は、Flash Media Server を用いたコンテンツ配信サービスを展開しています。今後もアドビ システムズ製品の活用を通じて、高品質で安定したコンテンツ配信サービスを提供します。」と述べています。

株式会社 J ストリームの技術部門上席執行役員、三山 悟氏は、「今後リアルタイム Web やソーシャルメディアの台頭とともに、ブロードバンド普及率の高い日本のマーケットにおいて、ビデオストリーミングの価値や規模が飛躍的に拡大すると考えています。Adobe Flash Media Server 4 の登場により、顧客からのあらゆる配信規模の要望に対し、最適なコストで、より高品質かつ安定性の高いビデオ配信ソリューションを提供できるようになることは、コンテンツ配信の将来に多くの発展をもたらすものになると、大変喜ばしく思っております。」 J ストリームはアドビシステムズとのパートナーシップにより、これからも弊社顧客である多くのメディア関係者様、企業様、クリエイターの方々に、高い表現能力を実現可能な Flash Video による、大規模なストリーミング配信を、安定的に提供してまいります。」と述べています。

株式会社ドワンゴの執行役員 研究開発本部長、千野 裕司氏は、「当社サービス「ニコニコ生放送」では毎日 30 万人が視聴、5 万番組を放送という規模でライブストリーミング配信を行っており、このサービスを支える技術として Adobe Flash Media Server を採用しています。喜ばしいことに今回 Adobe Flash Media Server 4 で 64 ビット OS 対応がされたことで、昨今のハイパフォーマンスな機器のボトルネックが大幅に解消し、性能を最大限まで引き出すことが可能になったと言えるでしょう。また、今回新たに追加されたマルチキャストやピアツーピア等が、配信コストの削減につながることを大いに期待しています。」と述べています。

ブライトコープ株式会社 プロダクト & マーケティング バイスプレジデント 須賀 正明氏は、「Adobe Flash Media Server の革新的なストリーミング技術と Adobe Flash Player の高い普及率によって、動画は日常のオンライン体験の一部となりました。オンラインビデオはメディアだけでなく、マーケティングでも活発に採用されるようになり、テキストや画像と同じくウェブにはなくてはならないメディアになりました。インターネットビジネスでは、これまで以上に高品質でプレミアムな動画視聴体験が求められています。一方で、ソーシャルメディアとの連携や、PC を含む様々なデバイスへの配信など、マーケットのニーズは多様化し複雑になっています。Flash Media Server 4 が提供する最新のテクノロジーによってオンラインビデオが次のレベルへと深化し、ブライトコープのオンラインビデオプラットフォームを通じて世界中のお客様にオンラインビデオの可能性を提案できることを大変嬉しく思っております。」と述べています。

株式会社プロデュース・オン・デマンド 運用技術部長 佐藤 雅一氏は、「IP マルチキャスト、ならびにアプリケーションレイヤーでマルチキャストの機能が実装されたことで、今後の映像配信は量的にも質的にも飛躍的な進歩を遂げるでしょう。ユーザビリティの向上だけでなく、サービス提供側にも大幅なコスト削減をもたらし、ブロードキャストの主戦場を放送波からインターネット上に置き換えるきっかけになるかもしれないと期待しています。アドビシステムズ社の革新的なアイデアが新しい時代を切り開いていると言っても過言ではありません。」と述べています。

comScore によれば米国で最もトラフィックの多い 25 のサイトのひとつである (2010 年 7 月現在) myYearbook のギャビン ロイ (Gavin Roy) CEO は、「myYearbook は Web でも携帯電話でも新しい人々に会うための最高の場となることを使命としており、ビデオについてはコミュニケーションのためのよりリッチな手段であると考えています。Adobe Flash Media Server 4 ソフトウェアには、近く提供を開始するプレミアムユーザー向けのビデオチャット向けのソリューションとして大きな可能性を見えています。VIP Club と会員制サービスは大きな人気を集めており、ビデオはプレミアムサービスの普及推進に大きな力となると思われます。

Flash Platform を活用することにより、メディア配信コストを抑えながら自らのインフラストラクチャーを管理することが可能となりました。」と述べています。

製品に関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/flashmediaserver/>

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。